

# こんにちは 町会です

## 笑顔あふれるコミュニティ 町会・自治会の楽しい活動

築地  
六丁目町会



茅場町  
三丁目町会



佃  
三丁目町会



**町会・自治会活動に参加して  
世代を超えたふれあいを！**

わがまち中央区の人口は、三十代、四十代の若い世代を中心に十七年連続で力強く増加を続けており、昨年四月には十三万人を突破しました。

区は、「快適な都心居住」のもとで、将来にわたり安心して住み続けられる世界に誇れるまちづくりに取り組んでおりますが、今日のようにまちのにぎわいが増す中で、毎日安全に安心して暮らしていくためには、地域で暮らす人々との相互理解や信頼関係の構築が必要不可欠となります。地域において、その中心的役割を担っているのが町会や自治会です。

町会・自治会は、地域コミュニティの核として、防災・防犯活動や高齢者への声かけなど、日々の暮らしに密着した活動を幅広く行っています。

特に、防災活動については、「東日本震災」での経験を活かし、防災訓練の実施や災害用備蓄品の一層の充実を図るなど、より安全で安心なまちづくりに取り組んでいます。

さらに、町会・自治会は、盆踊りやもちつきなどの伝統行事も行っていますので、子どもから大人まで幅広い年代の方たちとコミュニケーションを図ることができるとも魅力です。

「こんにちは町会です」は、主に町会・自治会に未加入の方に、町会・自治会のさまざまな活動を知っていただくことで、加入・参加のきっかけとなることを目的としています。

さあ、あなたも町会・自治会の活動に積極的に参加して、快適な地域社会と活力あるコミュニティをともにつくっていきましょー！

## 京橋地域

人と人との触れ合いを  
大切にすゝる人情豊かなまち

築地六丁目町会

会長 小林 高光さん



「まちにとつて何より大事なものは人間関係です。『おはよう』『こんにちは』『こんばんは』のあいさつを交わすことから住民同士のコミュニケーションを深めようと、町会役員を中心に声をかけています。」と語るのは小林会長です。あいさつを通して顔見知りになることは防火、防犯につながるだけでなく、災害時にも役立つとの思いで「声をかけ合うまちづくり、自分たちのまちは自分たちで守ろう」を合言葉に活動しています。



「町会会員数は約六百五十で、マンションもすべて入会しています。また法人会員も協力的なので大変助かります。わが町会の特徴は、人々との触れ合いを大切にしていること

と、子どもが参加する行事が多いことです。」と小林会長。

毎年春に執り行われる「学神祭」は小学校入学を祝う行事で、新生が親と一緒に参加します。町会の氏神様である波除稲荷神社で子どもの成長、安全を祈願し、記念品の贈呈、記念写真の撮影を行います。

六月の「つきじ獅子祭」では、波除稲荷神社のみこしや獅子の巡幸が若睦連合会を中心に執り行われるほか、町会の子どもみこしも繰り出され、大勢の子どもたちが参加して盛り上がりがあります。

そして新成人になると、町会から記念品を贈呈してお祝いするとともに新年会に無料招待します。今年も新成人八名中、六名が参加しました。

活発な町会活動により  
深まる地元意識と連帯感

「皆さん地元意識が高く、自分たちのまちをみんなで盛り上げようという気持ちで協力していただけるのでうれしいです。」と小林会長。

三月に町会会館前で開催される「もちつき大会」には五百人ほどが参加。あんこやきな粉、大根おろしで味付けされたお餅のほか、お汁粉や雑煮もふるまわれ、大いににぎわいま

す。

そして七月の「サマーフェスティバル」は、旧小田原町と一緒に盛り上がるとうことで、築地七丁目町会と合同で開催。踊りや歌のほかミュージシャンのライブなども行われます。また八月には「築地本願寺納涼盆踊り大会」に参加し、九月には「オータムフェスタ」で大人も子どもも楽しめます。

このほか町会には、六十歳以上の高齢者で構成される「築寿会」（岡田良光会長）があり、新年会、忘年会、クリスマスのほか、老人ホームなどを見学する「施設研修」や「懇親旅行」（昨年は千葉）を実施しています。また九月の「四町会合同敬老大会」（築地四丁目町会、六丁目南町会、七丁目町会と共催）には、約三百人の高齢者が参加します。

「年間行事が多いため、一年があつという間に過ぎてしまいます。それだけ町会活動が充実しているということなのでありがたいですね。今後は、もつと若い人にも参加してほしいと思つています。」と小林会長。楽しい企画をたくさん構想中とのことですので、今後の活発な町会活動が一層期待されます。



小林会長(左)と築寿会会長の岡田さん(右)

## ～町会・自治会の情報サイト「中央区町会・自治会ネット」をご利用ください～

中央区では、町会・自治会への新規会員の加入促進および町会・自治会同士の情報交換等の連携支援を目的とした「中央区町会・自治会ネット」を開設しています。

このホームページでは、町会・自治会に関する情報について、団体検索や情報検索機能により、①各町会・自治会のプロフィール、②イベント案内、③活動報告、④名所名店情報、⑤加入のご案内などが閲覧できます。そのほかにも町会・自治会同士の連絡手段としての掲示板（会員のみの利用可能）や、地域に密着した行政情報などを掲載しています。

まちの魅力を共有する一手段として、「中央区町会・自治会ネット」を積極的にご活用ください。

中央区 町会・自治会ネット

検索

お問合せ先 区民部地域振興課自治振興係 03-3546-5337

※中央区のホームページからもリンクがありますので、ご利用ください。



日本橋  
地域共助の精神で伝統を守り  
次世代につなげていきたい

茅場町二・三丁目町会

会長 安西 暉之さん



茅場町・兜町はかつて酒問屋や海産物問屋、米問屋などが軒を並べる商業のまちとしてにぎわいました。その後、証券会社が並び建つ金融街として発展し、日本経済の中心となってきた歴史ある地域です。

町内にある阪本小学校もまた歴史が古く、学制が發布された翌年の明治六年に「第一大学区第一中学区第一番小学阪本学校」として開校しました。都内最古の公立小学校とされ、昨年には開校百四十周年の記念式典が執り行われました。

「まちの歴史や伝統を次の世代につなげていくためにも町会活動は重要です。町会の根幹は『人の輪』と『共助』であり、災害が懸念される昨今だからこそ、地域のつながりは大切です。」と語る安西会長もまた阪本小学校の出身です。



「町会会員数は三百四十で、そのうち法人会員が百四十です。マンシヨンの入会率は残念ながら低いので、それを高め

ていくことが今後の課題です。」と語る安西会長。

町外に転出した方でも希望者には「特別会員」として町会行事の案内を送付し、祭りや旅行に参加していただいているそうです。事情があつて転出したものの地元に対する愛着が強い方にとっては嬉しい配慮であり、大変喜ばれているようです。

「みんなが楽しく暮らせるまち」  
を目標として意欲的に活動

町会が最も力を入れているのは、隔年で開催される「日枝神社例大祭」で、六月の祭礼に向けて数か月前から準備に取りかかります。

例大祭のない年には、全会員を対象とした「町会バスハイク」を計画し、例大祭のある年は、青年部と婦人部の「研修バスハイク」が実施され、名所・旧跡などを訪れます。

また日枝神社日本橋撰社では、年末に「餅つき大会」を行い、大みそかには参拝客にお汁粉や甘酒をふるまいます。

「町内に小学校や警察署、消防署、郵便局があり、日頃から協力いただいていることが町会活動の円滑な運営につながっていると感謝し

ています。」と安西会長。

坂本町公園で開催する「櫻まつり」では町内の各種友好団体や企業にも協賛いただき、とん汁や花見だんごが供され、大勢の子どもたちの参加もあつて大変盛り上がりがあります。夏休みの「ラジオ体操」や秋の「献血事業」、「防災訓練」も坂本町公園で行われ、ここが町会活動の拠点となっています。

年末には、婦人部による「歳末たすけあい運動」も行われ、区内の福祉の充実にも貢献しております。

また「地域クリーンデー」や「大みそか町内清掃」で美化活動に励むとともに、冬場は「歳末警戒」「町内夜警」を行い、防犯・防災にも努めています。

「みんなが楽しく暮らせるまちにしたいので、困ったことは何でも気軽に町会に相談してほしいです。今後は災害時に備えて、高齢者の避難方法なども検討していく予定です。」と語る安西会長。また町会行事に参加されたことのない方は、ぜひ一度参加

してください。町会活動を通して、もつとこの町が好きなことになると思います。



副会長の石川さん(左)、会長の安西さん(中央)、副会長の坂間さん(右)

## ～中央区の企業の皆様へ～ 町会では法人企業会員の方も募集しています

現在、「中央区」には、約3万7千の民営事業所に72万人の従業員が働いています。

2年前の「東日本大震災」では、多くの帰宅困難者が発生しましたが、中央区においては、町会のご協力のもと2千人を超える人々を、19の防災拠点において受け入れました。

町会は、日頃から地域の活性化とともに、行政と連携して防災・防犯活動など安全で安心して暮らせるまちづくりにも貢献されています。

法人企業においても、日ごろから町会との連携を深め、地域内での協力体制を築いておくことが大切です。また、盆踊りやもちつきなど、町会が主催するさまざまなイベントに参加することで、日中多くの時間を過ごす地域の方とコミュニケーションを図ることもできます。さらに、町会に加入し区の商工業融資を利用した場合、借受人負担利率を優遇する制度もご利用いただけます。

ぜひ、町会未加入の企業の方は、これを機会に加入しましょう！皆さんの事業所がどの町会エリアに属しているかなど、町会に関する詳しい情報は、2面下段の「町会・自治会ネット」でもご覧いただけます。



島  
地域  
月

防災に強いまちを目指し  
訓練や見回りを積極的  
に実施

佃三丁目町会

会長 櫻井 孝治さん



佃島の東側に位置する佃三丁目は、戦火を免れたため昔ながらの古い建物や路地が残る一方、近代的なマンションも建ち並び、新旧のまちなみが共存する地域となっています。「関東大震災の恐ろしさは親から伝え聞いていますし、風情ある昔ながらの建物を守る責任がありますから、防災活動は重要だと考えています。」と語る

のは、生まれも育ちも佃三丁目という櫻井会長です。

毎年春には佃一丁目・

二丁目と合同の「佃連合町会防災訓練」が開催され、臨港消防署や臨港消防団、月島警察署などの協力を得て、消火訓練や起震車体験を行っています。また大地震が発生した場合、津波襲来の恐れはないものの、万一の浸水に備え、津波避難訓練も実施しています。

「佃三丁目町会はグリーンのユニフォーム(帽子とジャンパー)を着用

し、ヘルメットを被って参加します。自分たちの命やまちはみんなで団結して守るしかありませんから、町内全世帯に参加を呼びかけ、毎回百名ほどが参加します。」と櫻井会長。

毎月第二火

曜日の午後六時半からは、町

会役員と防犯

部が警察と連

携して「防犯パ

トロール」も実

施しています。

町内で犯罪や

火災がほとんど発生していないのは、この活動の成果といえるでしょう。

また近年は高齢者をねらった悪質な詐欺事件も多発しているため、住民に注意喚起をしています。



集合住宅の住民も参加し  
もっと交流を深めてほしい

佃三丁目町会の役員は、防犯部、交通部、文化部、防火・防災部などに分かれ、年間を通してさまざまなイベントを企画・運営しています。

「町会の大きな行事としては、三年に一度の『住吉神社大祭』があります。祭りのない二年間は、相生の里の

広場に櫓を設置し、「盆踊り」を開催。三百人分のお菓子や飲み物を準備します。町外からも大勢の子どもが訪れるので、大変なにぎわいです。」と櫻井会長。

そのほか「春・秋の交通安全週間」

(四月・九月)には町内にテントを張り、交通部が中心となって小学生などに交通指導を行います。また秋に開催される「バスハイク」は人気が高く、毎回バスは満席状態。昨年は千葉の館山に行きました。

長年続いているのは町内一斉清掃です。毎月第二日曜日に「クリーンデー」を設け、住民みんなで町内の美化に取り組んでいます。このとき古新聞や段ボールも回収し、その売上金で年に数回、お汁粉や飲み物を提供し、喜ばれています。

「今後の目標は、集合住宅にお住まいの方にも町会活動にもっと参加してもらうことです。町内には小規模なものも含めると三十以上のマンションがあります。ファミリータイプは少なく、町会への入会率は低いのが現状です。町会活動の利点をもっと理解してもらえるように発信し、会員を増やしていきたいです。」と語る



コミュニティふれあい銭湯

中央区では、コミュニティふれあい銭湯として毎月第2・第4金曜日に一人100円(敬老入浴証持参者および小学生以下は無料)で銭湯の湯をお楽しみいただけます。

みなさんのご利用をお待ちしています。

平成26年度の前期は、下記の日程となっています。

【開設日】 4月11日(金)・25日(金) 5月9日(金)・23日(金) 6月13日(金)・27日(金)  
7月11日(金)・25日(金) 8月8日(金)・22日(金) 9月12日(金)・26日(金)

※第2金曜日は、季節にちなんで趣向で浴場を飾ります。

【時間】 各浴場営業時間 【場所】 中央区内公衆浴場(銭湯)10浴場  
【対象者】 中央区内在住・在勤者 【入浴料金】 一人100円

※ただし、敬老入浴証持参者および小学生以下は無料



お問合せ先 区民部地域振興課区民施設係 03-3546-5623